日本史特殊講義5C－Ⅰ

科目ナンバリング　JPH-209
選択必修　　2単位

宮川　麻紀

1. 授業の概要（ねらい）

日本古代史の魅力の一つは、現代につながる物事や言葉の起源が分かることである。私たちの生活にもなじみ深い様々な事柄やその名前は、いつ頃からあり、どのように変化しながら今に至るのか。古代というと、遠い昔のことで想像もつかない、と思われがちであるが、果たしてそうであろうか。この授業を通して、日本古代史（飛鳥・奈良・平安時代）に関心をもつとともに、日常生活の中から様々な疑問を見つけ出し、自身の力で考えられるようになってほしい。

2. 授業の到達目標

①様々な物事やその名称の起源や歴史を理解できる。
②自身で問いを立て、考察できるようになる。
③考察した結果を、正しい文章で記すことができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

（1）各回の課題（到達目標①・②）40%
（2）期末レポート（到達目標①～③）60%

4. 教科書・参考文献

参考文献
木村茂光・小山俊樹・戸部良一・深谷幸治　『大学でまなぶ日本の歴史』　吉川弘文館
宮川麻紀　『日本古代の交易と社会』　吉川弘文館

5. 準備学修の内容

ここで挙げた参考文献や、授業内で紹介する参考文献などを読み、知識を習得しておくこと。
各回の課題や期末レポートに備えて、本を読んで論点・疑問点を挙げておくこと。

6. その他履修上の注意事項

出席していても、課題提出やレポートが不十分である場合は、単位を取得できるとは限らない。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
・日本古代史について考える
・授業の進め方と評価方法の説明
【第2回】　「天皇」号と「日本」国号のはじまり
【第3回】　年号のはじまり
【第4回】　京のはじまり
【第5回】　交易のはじまり
【第6回】　貨幣のはじまり
【第7回】　刑罰のはじまり
【第8回】　医療のはじまり
【第9回】　名字のはじまり
【第10回】　租税のはじまり
【第11回】　外交のはじまり
【第12回】　暦のはじまり
【第13回】　武士のはじまり
【第14回】　日記のはじまり
【第15回】　怨霊のはじまり